

品目・課題名	研究内容	研究期間	担当
過酢酸製剤を利用したカンキツ果実の表面殺菌及び貯蔵病害抑制技術の開発	糸状菌や細菌への殺菌性が認められ、かつ揮発性の高い「過酢酸」による表面殺菌技術を開発する。	R1～R3	流通経営担当
イチゴの輸送性向上技術の開発	「阿波ほうべに」の果皮硬度や輸送性を向上させる技術について、「栽培」、「収穫後管理」、「流通環境」の複合的側面から確立する。	R1～R3	流通経営担当
酪農経営収益向上のための指標モデル作成	酪農経営で問題となっている収益性向上を図るため、後継牛の生産体系や経費について、酪農家の実態調査から生産コストや経済性を比較するとともに、生産体系別のシミュレーション（育成方法、授精手段、牛種別）を行い、本県における効率的な後継牛確保の指標モデルを作成する。	R2～R3	流通経営担当
果実の計画出荷を実現する貯蔵技術の確立	シャインマスカットの貯蔵特性（貯蔵期間、外観、内部品質）および出庫後の品質変化について、貯蔵温度別に明らかにするとともに、4～5ヶ月間の品質保持を目的とした低温(1℃)貯蔵とポストハーベスト処理（MA包装、高温処理、LED照射処理等）の複合処理技術を確立する。	R2～R4	流通経営担当
既存設備を活用した「なると金時」高温処理システムの確立	「高温処理技術（出荷前キュアリング）」による長期品質保持効果について、現場での実用技術として確立する。	R2～R4	流通経営担当
徳島県産青果物のEU向け船舶輸出技術の確立	輸出拡大のボトルネックとなっている輸送コストの低減や品質保持を図るため、スタヂをはじめとした県産各種県産品の最適な品質保持技術を検討・確立し、輸出実証試験でその適応性を確認する。	R3	流通経営担当
農業労働力の安定確保に向けた調査研究	県内の農業労働力の活用状況について現状を調査し、効率の良い組み合わせを検討することで、円滑な労働力確保につなげる。	R3～R5	流通経営担当
ミシマサイコ(2年栽培)の栽培体系・経営モデルの確立	薬用植物であるミシマサイコ(2年栽培もの)の栽培品種を用いた現地栽培試験(摘芯、採取)を行い、効率的な栽培体系を確立し、生産物収量の安定化を図り経営の安定化を図る。	R3～R5	流通経営担当
CBS利用による後継牛の育成最適モデルの構築	CBSの運用状況調査や利用者の酪農家を対象としたアンケート・聞き取り調査および後継牛確保の方法別のコスト評価を実施して営農上の課題を析出し、利用者・非利用者の預託ニーズや問題点を明らかにする。	R3～R5	流通経営担当